

# I 平成30年度 事業報告

自 平成30年4月 1日

至 平成31年3月31日

公益財団法人 東燃ゼネラル石油研究奨励・奨学財団

## 事業報告

〔 自 平成30年 4月 1日  
至 平成31年 3月31日 〕

### I 法人の概況

1. 設立年月日： 昭和32年11月27日

2. 定款に定める目的：

この法人は、大学理工科課程の学生・大学院生に対し奨学援護を行うとともに、若手研究者の科学技術に関する研究開発の奨励及び助成を行うことにより、わが国の工業の発展と産業における生産技術の振興を図ることを目的とする。

3. 定款に定める事業：

- (1) 奨学金の給与
- (2) 奨学資金を受ける学生・大学院生の指導
- (3) 科学技術に関する研究開発の奨励
- (4) 科学技術に関する調査研究の助成
- (5) 科学技術の研究の成果の普及に関する助成
- (6) その他、この法人の目的を達成するために必要な事業

4. 所管行政庁に関する事項： 内閣府

5. 主たる事務所の状況(平成31年3月31日現在)： 東京都港区港南一丁目8番15号

6. 役員及び評議員に関する事項(平成31年3月31日現在)

<役員>

役 職	勤務形態	氏 名	経 歴
理 事 長	非 常 勤	岡 井 政 義	元東燃ゼネラル石油(株) 代表取締役会長
常務理事	同	伊 藤 陽 二	元東燃ゼネラル石油(株) プロジェクト開発部長
理 事	同	田 村 昌 三	東京大学 名誉教授
同	同	田 島 直	(株)ミツウロコグループホールディングス 名誉会長 (現職)
同	同	長 島 昭	慶應義塾大学 名誉教授
同	同	斎 藤 彬 夫	東京工業大学 名誉教授
同	同	小久見 善八	京都大学 産官学連携本部 特任教授 (現職)
同	同	西 出 宏 之	早稲田大学理工学術院 総合研究所 特任研究教授 (現職)
同	同	松 下 秀 司	元ゼネラル石油(株) 企画財務部長
監 事	同	森 偉 実	元ゼネラル石油(株) 信用管理室長
同	同	高 月 邦 彦	元東燃ゼネラル石油(株) 企画管理室グループマネジャー 翻訳家 (現職)
同	同	佐々木 英明	元東燃ゼネラル石油(株) 執行役員人事担当 ジクシス(株) 経営企画部担当部長 (現職)

## <評議員>

氏名	経歴
國武 豊喜	九州大学 名誉教授 九州大学高等研究院 特別主幹教授 (現職)
朝倉 祝治	横浜国立大学 名誉教授
大倉 一郎	東京工業大学 名誉教授
戸部 義人	大阪大学 名誉教授
大聖 泰弘	早稲田大学大学院 次世代自動車研究機構 特任研究教授 (現職)
滝澤 博胤	東北大学大学院 理事・副学長、教授 (現職)
浦邊 太郎	元ゼネラル石油㈱ 常務取締役
中西 宏一	元ゼネラル石油㈱ 小売開発部長

### 7. 職員に関する事項:

男子 1名 (勤続年数 8年 9ヵ月)

### 8. 許認可に関する事項: なし

## II 事業の概況

### 1. 事業活動

当財団を取り巻く環境を眺めると、現在、政府においては「教育再生」を最重要課題と位置づけて推進すると同時に科学技術によるイノベーション創出を重点施策として推進しております。

教育再生においては、家計における教育費の経済的負担の大きさに注目し、従来の貸与型奨学金制度に加え給付型奨学金制度を導入しました。しかしながらその内容の質・量ともに十分とは言えず、民間の支援はこれまで以上に期待されています。

一方、科学技術の振興の鍵となる研究費全般については、これまでの低減傾向に歯止めが掛かったものの、エネルギー分野に関する研究費については相変わらず年々減少しており、大学研究室にとって民間からの研究助成金は貴重な財源となっています。

このような環境下において、当財団は当事業年度において次のような取り組みを行いました。即ち、奨学事業においては、当財団設立以来継続している給付型奨学金の拡充に努めて参りました。先ず、奨学金の増額を行い、従来の1人当月額3万円を1万円増額し月額4万円としました。また、奨学生の総数を1名増員し、50名の奨学生に給付いたしました。その結果、支給した奨学金総額は前事業年度比612万円増加の2,376万円を支給しました。

研究奨励事業では、研究論文の募集活動を積極的且つきめ細かく行いました結果、前事業年度より多くの優秀な研究論文が応募されましたので、採用数を増やすと同時に、優秀な研究内容に対しては助成金の増額を図り、助成金の総額でも前事業年度比600万円増加の3,000万円を贈呈しました。

こうした活動を効果的に推進するため、役員等の補強を行い、組織の活性化や事業運営の改善と効率化に取り組むと同時に、将来像を念頭に置き事業の拡充と財政の健全化も進めてまいりました。

また、昨年12月に財団ホームページを開設し、関係者に利便性を提供すると共に、広く閲覧をして頂き財団活動の広報ツールとして活用をスタートさせております。

各事業の活動経過及び成果は次の通りです。

(1) 奨学事業：

① 奨学生数： 当事業年度に1名増員いたしました。

この結果、前事業年度より継続している奨学生22名を含めて50名となりました。

なお、当事業年度末に17名の奨学生が卒業して社会に巣立ちましたが、これにより財団創立以来、累計卒業生は957名となりました。

指定大学別・大学院生別・学部学生別内訳

	北 大	東 北 大	東 大	東 工 大	横 国 大	早 大	慶 大	名 工 大	名 大	京 大	阪 大	九 大	計
大学院生	0	4	3	2	3	3	3	1	1	2	5	5	32
学部学生	3	1	2	3	1	1	1	2	1	3	0	0	18
計	3	5	5	5	4	4	4	3	2	5	5	5	50

② 奨学給与額： 月額 4万円/1人 (年間 48万円)

③ 主要な活動状況：

平成30年3月28日 指定大学12校に新規奨学生候補者28名の推薦依頼

同 4月25日 推薦応募申請提出締切り

同 5月10日・11日 新規奨学生応募者の個別面接(東京)

同 6月 4日 選考委員会による最終選考及び理事会承認

平成30年6月～平成31年2月 地域担当者による月例会の開催と奨学金の手渡し支給

平成31年3月 1日 大学・大学院を卒業する奨学生17名のための送別会を開催

(2) 研究奨励事業：

① 応募実績 (カッコ内は前年度実績)

・ 大学数： 16校(17校) … 指定校 10大学(12校) 推薦校 6大学(5校)

・ 応募案件： 37件(32件) … 指定校 28案件(24件) 推薦校 9案件(8件)

② 助成金授賞者数及び総額

・ 対象者： 23名(14大学)

・ 助成金総額： 3,000万円(前事業年度比 600万円増加)

③ 主要な活動状況：

平成30年7月 5日 指定大学14校及び推薦10校に研究助成金募集

同 8月31日 応募申請提出締切り

同 9月26日 第1次選考会を実施

- 同 11月20日 第2次選考会を実施
- 同 12月14日 選考委員会による最終選考及び理事会承認
- 平成31年2月15日 受賞された研究者のための研究助成金贈呈式を開催

2. 資金調達及び設備投資の状況

平成30年度中における借入れ及び重要な設備投資(除却又は売却を含む)はありませんでした。

3. 重要な契約の締結

- 平成30年10月 JXTG エネルギー(株)及び渡邊倉庫(株)との間で財団事務所に係る「同居に関する覚書」並びに JXTG エネルギー(株)との間で「同居賃料に係る覚書」を締結
- 平成31年 3月 下記5地区における奨学金支給と奨学生指導のための業務委託契約の締結  
契約者5名(業務委託実施地区:札幌、仙台、名古屋、関西、福岡)  
契約期間 : 2019年4月1日~2020年3月31日

4. 届出及び理事会等に関する事項

(1) 申請、届出事項等

- 平成30年6月30日 平成29年度事業報告及び計算書類等を内閣府に提出(電送)
- 平成31年3月29日 2019年度事業計画及び収支予算書等を内閣府に提出(電送)

(2) 会議等開催状況

<評議員会>

会議とその開催日(場所)	議案・報告事項	審議結果
定時評議員会 平成30年6月21日 (ザ・プリンスさくらタワー東京)	<b>決議事項:</b> 1) 平成29年度 計算書類と財産目録の承認の件 2) 理事、監事の選任の件 <b>報告事項:</b> 1) 平成29年度 事業報告の件 2) 平成30年度 奨学生採用選考結果報告の件 3) 財団Web サイト(ホームページ:HP)制作の件 4) 理事長及び常務理事の職務の執行状況に関する報告の件	承認 承認  了承 了承 了承 了承

<理事会>

<p>第1回理事会 平成30年6月4日 (ザ・プリンスさくらタワー東京)</p>	<p>決議事項: 1) 平成29年度 事業報告、計算書類とその附属明細書並びに財産目録の承認の件 2) 平成30年度 奨学生採用選考の件 3) 理事、監事の改選の件 4) 財団Webサイト(ホームページ:HP)制作の件 5) 定時評議員会の招集及び付議事項に関する件 報告事項: 1) 理事長及び常務理事の職務の執行の状況に関する報告</p>	<p>承認  承認 承認 承認 承認  了承</p>
<p>第2回理事会 平成30年9月28日 (書面決議)</p>	<p>決議事項: 1) 家主(渡邊倉庫(株))並びにJXTGエネルギー(株)との同居及び賃料の支払いに関する覚書の締結の件</p>	<p>承認</p>
<p>第3回理事会 平成30年12月14日 (ザ・プリンスさくらタワー東京)</p>	<p>決議事項: 1) 第38回(平成30年度)研究助成案件の選考及び助成金額承認の件 報告事項: 1) ホームページ開設に関する報告 2) 6月～12月の活動報告 (1) 資金運用及び収支見通し (2) 事業報告ほか</p>	<p>承認  了承  了承 了承</p>
<p>第4回理事会 平成31年2月15日 (ザ・プリンスさくらタワー東京)</p>	<p>決議事項: 1) 2018年度 決算に関する件 (1) 重要な会計基準の変更について (2) 期末時の特別経理処理について 2) 2019年度 事業計画及び収支予算等に関する件 (1) 事業計画 (2) 収支予算 (3) 資金調達及び設備投資について 3) 研究助成対象者選考委員会運営規則の改定 4) 奨学生選考委員の委嘱 報告事項: 1) 理事長及び理事の職務活動経過報告等</p>	<p>承認 承認  承認 承認 承認 承認  了承</p>

<選考委員会>

奨学生選考委員会 平成30年6月4日 (ザ・プリンスさくらタワー東京)	決議事項: 1)平成30年度 奨学生採用選考の件	承認
研究助成対象者選考委員会 平成30年12月14日 (ザ・プリンスさくらタワー東京)	決議事項: 1)第38回(平成30年度)研究助成案件の選考及び助成金額の決定に関する件	承認

5. 収支及び正味財産の増減の状況並びに財産の状態の推移

(単位:万円)

事業年度	27年3月期	28年3月期	29年3月期	30年3月期	31年3月期
経常収益	5,162	6,344	6,192	6,287	7,003
経常費用	3,484	6,221	6,365	6,504	7,924
(評価損益等調整前) 当期経常増減額	1,678	123	-173	-217	-921
評価損益等	1,532	-768	-276	1,361	-2,846
当期経常増減額	3,210	-645	-449	1,144	-3,767
資産合計	105,000	104,371	104,588	105,377	102,407
正味財産	104,744	104,099	103,650	104,794	101,827

III 決算期後に生じた法人の状況に関する重要な事実 (後発事象)

該当なし

IV 事業報告の附属明細書

平成30年度の事業報告には、「一般社団法人及び一般財団法人に関する法律施行規則」第34条第3項に規定する「事業報告の内容を補足する重要な事項」が存在しない。

以上